

# 2ハンドル 混合栓

## 施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、2ハンドル混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

### 施工の前に…。

- 温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- 元止式湯沸器には使用しないでください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

### 使用圧力条件について…。

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- 給水・給湯圧力は圧力差があると、温度調整がしにくくなります。やけど防止のため、給水圧力は、給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- \* 電気温水器と組み合わせる場合は、特に注意してください。
- 給水・給湯にて圧力差がある場合は、別途市販の減圧弁を設けてください。
- \* 減圧弁にて調節しても温度調整が容易でない場合はサーモスタット水栓のご使用をおすすめします。

## 安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**注意** 気をつけていただきたい「注意」を表します。

**強制** 必ず実行していただく「強制」を表します。

**禁止** してはいけない「禁止」を表します。

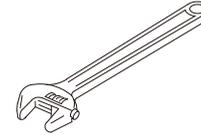
### 施工上のご注意

禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湯と水を逆に配管しないでください。やけどや器具破損の恐れがあります。</li> <li>● 配管内の、ゴミや砂などは完全に洗い流してください。</li> <li>● 給湯温度は85℃以上で使用しないでください。85℃より高温で使用されますと、製品の寿命が短くなるだけでなく、各部品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> <li>● 製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> </ul>
注意	<p>他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。やけどの恐れがありますので、やけどの恐れがないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。</p>
必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 給湯機からの配管は、配管圧力損失を少なくするため最短距離で配管し、必ず保温材を巻いてください。</li> <li>● 各部の接続を行う際はパッキンがついていることやそれらに破損・変形がないか必ず確認をしてください。漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> <li>● 凍結が予想される場合は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください(寒冷地仕様)。凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> </ul>

## 施工に必要な工具

\*品名の下に品番のある工具は弊社の製品です。

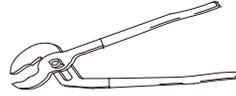
●モンキーレンチ



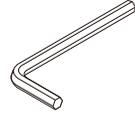
●シールテープ



●ウォーターポンププライヤー  
(弊社品番: 6095)



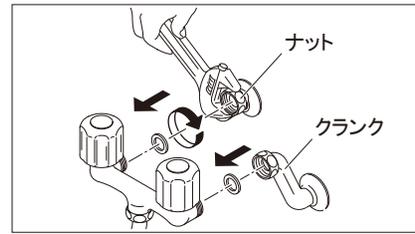
●六角レンチ



## 取付けの前に

\*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉めて取付作業を行ってください。

### 1. 古い混合栓本体を取外します。



「レンチ」などで、クランクと混合栓本体を固定しているナットを右方向(時計まわり)にまわして、クランクから混合栓本体を取外します。

**注意** 混合栓本体は、重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

### 2. 壁からクランクを取外します。



安全のため、固定されているクランクにタオルをあて、両手で左方向(反時計まわり)にゆくりまわして取外します。  
\* 壁内のザルボがゆるまないように注意してください。  
\* もしゆるんでしまった場合は、「●ザルボが外れた場合の対処方法」を参考に対処してください。

### ●ザルボが外れた場合の対処方法

《六角レンチがある場合》	《六角レンチがない場合》
<p>クランク</p> <p>ザルボ</p> <p>①ザルボを「プライヤー」などではさみ、クランクから取外します。</p>	<p>クランク</p> <p>ザルボ</p> <p>①ザルボを「プライヤー」などではさみ、クランクから取外します。</p>
<p>ザルボネジ部</p> <p>シールテープ</p> <p>②次にザルボのネジ部のゴミを取除き、<b>取付方法</b> 2.の要領でザルボのネジ部にシールテープを巻付けます。</p>	<p>座金</p> <p>クランク</p> <p>シールテープ</p> <p>②お求めいただいたクランクのネジ部に座金を取付けた後、<b>取付方法</b> 2.の要領でシールテープを巻付けます。</p>
<p>ザルボ</p> <p>六角レンチ</p> <p>③ザルボを壁の中にねじ込み、「六角レンチ」で締付けます。</p>	<p>クランク</p> <p>ザルボ</p> <p>③ザルボを「プライヤー」などでクランクのネジ部に取付けます。</p>
<p>④クランクにザルボを取付けた状態で、<b>取付方法</b> に進んでください。</p> <p>*この作業を行った場合 <b>取付方法</b> 文中の「クランクのネジ部」は、「ザルボのネジ部」となりますので、注意してください。</p>	

**注意** ●ザルボの取付けは、確実に行ってください。壁の中ですので、漏水が発生した場合の確認が困難になります。  
●ネジで手を切る場合がありますので、十分注意してください。

### 3. ザルボ内のネジ部の掃除をします。



**注意** ネジ部にシールテープや接着剤が残っていると、漏水や混合栓の故障の原因になります。必ずネジ部の掃除をていねいに行ってください。

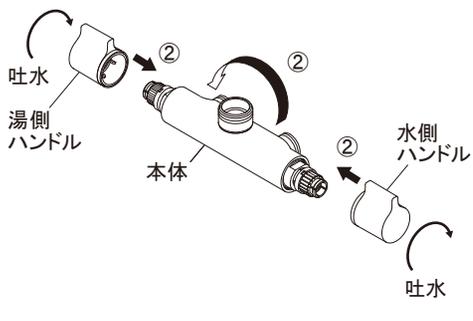
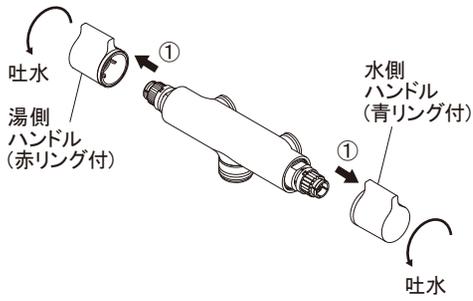
# 取付方法

## ●パイプの取付位置の確認

128-110(K)は開封時、下向き仕様で梱包されています。上向きで使用される場合は、下記を参照して「ハンドル組替・パイプ組替」を行ってから、パイプを本体に取付けてください。

\*取付後はパイプ位置の変更ができませんので、必ず取付前に下記の作業を行ってください。

### ハンドル組替



- ①湯水両側のハンドルを横方向に引っ張って取外します。
- ②混合栓本体を180°回転させて湯水両側のハンドルを組替えてしっかりとめ込みます。



注意

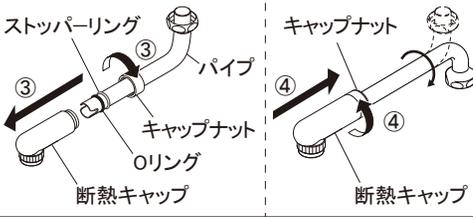
- 取外しの際は、指などをケガないように注意してください。
- 本体を上下変換することによってハンドルの開閉向きも反対になります。使用前に確認してください。



必ず実行

湯水ハンドルの組替えは必ず行ってください。湯水の表示が配管と逆になるため、誤った操作によるやけどの恐れがあります。

### パイプ組替



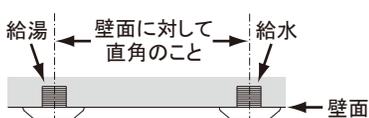
- ③キャップナットをゆるめて、パイプより断熱キャップを抜取ります。
- ④Oリング・ストッパーリングが入っていることを確認し、パイプの向きを変えて断熱キャップをパイプに差込み、キャップナットで締付けて固定します。

## 1. クランクの位置を確認します。



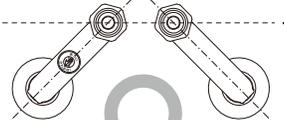
シールが貼ってあるクランクを湯側に取付けます。

### 正しい取付け方

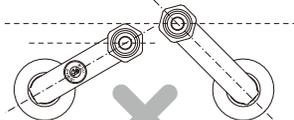
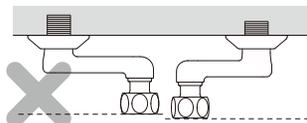


左右のクランクの端面は壁面に対して平行なこと

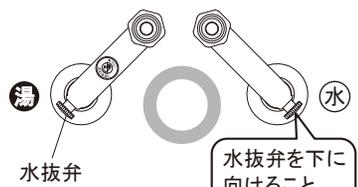
ナットの中心の位置の高さを揃えること



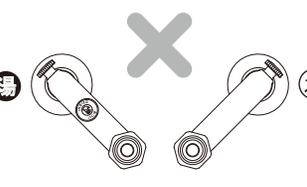
### 誤った取付け方



### 《寒冷地仕様の場合》



水抜き弁を下に向けること



本品のクランクをそのまま壁に取付け、ナットの端面が図のように壁面に対して平行であり、ナットの中心の位置がそれぞれ同じ高さになる時の、クランクの回転数を確認して覚えておきます。

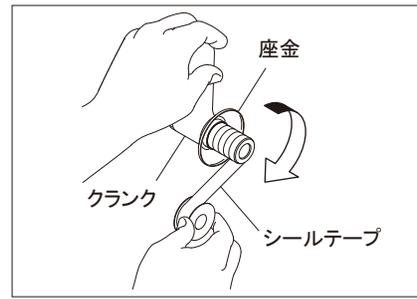


注意

《寒冷地仕様の場合》クランクの取付け状態を誤りますと、水抜きができなくなります。ご注意ください。

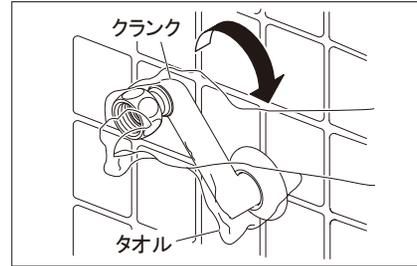
# 取付方法(つづき)

## 2. クランクのネジ部にシールテープを巻付けます。



左手でクランクをしっかり握り、右手でクランクのネジ部にシールテープをあてます。そのまま軽く引っ張りながら右方向(時計まわり)に7~8回、全体に均等になるように巻付けます。巻終わりましたら、シールテープを強く引っ張りちぎります。

## 3. クランクを取付けます。



- ①クランクにタオルをあて、あらかじめ確認した回転数より、1回少ない回転数まで右方向(時計まわり)にまわして締付けます。



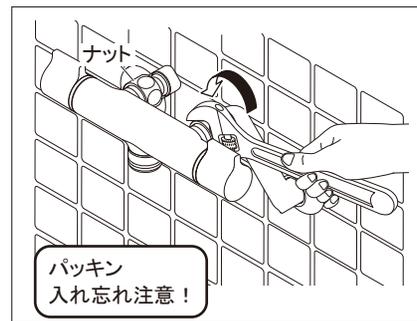
- ②締め終わりましたら座金をまわし、壁に密着させます。



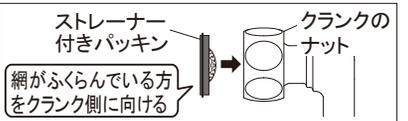
注意

クランクを取付ける際、逆方向にまわしてゆるめますと漏水の原因になります。もしも、ゆるめてしまった場合は、もう一度「取付方法」2.からやり直してください。

## 4. 混合栓を取付けます。



- ①クランクのナットにクランクパッキン(寒冷地用の場合ストレーナー付きパッキン)をはめ込み、混合栓本体をクランクに取付けます。  
\*ストレーナー付きパッキンを取付ける際は、ストレーナーの向きにご注意ください。



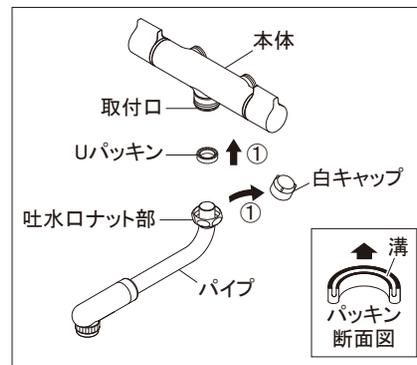
- ②「レンチ」などでナットを左右均等にしっかりと締め付け、混合栓本体をクランクに固定します。



注意

混合栓本体は、重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

## 5. パイプを取付けます。



- ①パイプの吐水口ナット部より白キャップとUパッキンを取外します。Uパッキンの溝を混合栓本体の取付口に向けて差込みます。
- ②パイプを取付口に差込み、ナットを締め付けます。

## 取付後の確認

元栓を開き、各部に水もれがないか確認をします。水もれが発見された場合は、元栓を閉め、水もれする箇所の施工をやり直してください。

ご購入店名(施工業者名)



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611  
広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371

0717\*\*

M-A9854A

無断転載・複写を禁ず